



港区のみなさん、こんにちは！1月号でもお伝えしましたが万博の年、そして「港区制100周年」を迎えました。今年はさらに「戦後80年」の年でもあります。港区は、区の面積の88.6%が焼失し、1944年2月には22万877人いた人口が1945年11月には8672人に激減（96%の減少）をした、大阪市の中でも特に戦争被害の大きかった区です。その歴史を港区制90周年／戦後70年の年に「大阪港周辺と港区～戦争と自然災害を乗り越えて 戦後70年の証言～」という記念誌やDVDにまとめています。その後10年が経ち、ますます戦争を知る人は減りました。

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」は、誰の命も理不尽に奪われないことが大前提です。世界は必ずしも平和とは言えません。私たちが平和な暮らしを80年続けて来られたのは、戦争の辛い苦しい体験を持つ方々が「二度と戦争は嫌だ」という強い想いをもち、伝えてくださったからです。戦火から復興した港区の歴史を特に若い人たちと学び、平和のバトンを受け取る1年にしたいと願っています。



「港区成人の日記念の集い」の祝辞でも、戦後 80 年に触れました。
平和な港区が 100 年続くよう、若い人たちの力に期待します！

大阪市港区：港区の戦後 70 年

